



➔ 第3回 PDA 高校生即興型英語ディベート 初の全国大会 出場！

昨年末の12月23日、24日と2日に渡って、「文部科学省後援 第3回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会」が、東京大学生産技術研究所にて行われ、日比谷高校からは初めて1チーム（3名）が参加しました。3人ともベストを尽くし、素晴らしいパフォーマンスを見せました。

今大会では、全国から64チームが参加し、かなり高いレベルの大会となりました。東京都からは日比谷高校を含め、筑波大学附属駒場高校、都立西高校、豊島岡女子学園高校、渋谷教育学園渋谷高校などが参加しました。

初日には4つのラウンドがあり、それぞれの対戦相手とトピックは以下の通りです。

Round 1 [VS 大阪府立北野高校]

Universities in Tokyo's 23 wards should limit the number of new students.

「東京都23区にある大学は入学者数を制限すべきである。」

Round 2 [VS 愛知県立旭丘高校]

Reporting real names of crime victims should be prohibited.

「犯罪被害者の実名報道は禁止されるべきである。」

Round 3 [VS 熊本県立済々黉高校]

Grade-skipping should be introduced in compulsory education.

「義務教育での飛び級を導入すべきである。」

☆ ベストディベーター賞 野間君

Round 4 [VS 大阪府立豊中高校]

Government should restrict the time spent on online games.

「国は、(PCおよびスマホの)オンラインゲームの利用時間を規制すべきである。」

☆ ベストディベーター賞 石田さん

初日に4ラウンドを行い、2日目に結果発表があり、残念ながらベスト8進出はなりませんでした。戦績を2勝2敗の五分とし、大健闘をしました。ディベート部や英語部などでディベートを部活動として行っている強豪校ばかりの中では健闘したと言えるでしょう。今後も授業等でもディベート力を向上させ、全国大会に参加するチームが出てくれることが今後期待です。

個人賞部門では、2人が1Rと4Rでそれぞれベストディベーター賞を獲得し、1人は全体でPOI賞第3位となりました。POIとは、「Point of Information」の略で、相手のスピーチの最中に、立ち上がって質問やコメントを発言することです。相手の論点を整理し、問題点を的確に追及していく力が求められます。

【参加者の感想】

最初のラウンドから自分が1回1回上達していくのが感じられ、英語の表現力の向上だけではなく、自分の視野が広がったと思う。また、他校の生徒の方のディベートを見たり、交流したりする機会があり良い刺激になった。来年はぜひ日比谷高校代表に世界大会に行ってほしい。

私は急遽代理で参加しました。最初の試合では場の空気に圧倒され、フリーズすることもありました。しかし、試合を重ねるにつれ、自分なりに楽しく表現できるようになりました。今回の大会で即興型ディベートのスリルと面白さを実感しました。

初勝利を挙げた第3ラウンドで3人全員が役割を果たした時のチームの一体感が爽快でした。たったの15分の準備時間で組み立てた論点をさらに短い3分で話すのはとても大変でした。今大会では様々な問題に対して多面的に考えを深めることの大切さを実感しました。

➔ 1月16日(火)『韓国との交流のための言語と文化と社会を考えるワークショップ』

昨年より韓国姉妹校との交流が始まり、ミチュホル外国語高等学校の生徒たちが10月に来日し、互いに有意義な活動を行うことができました。今年の3月にはいよいよ本校の生徒が韓国を訪問します。

韓国についての理解をさらに深める目的で、公益財団法人国際文化フォーラムの中野敦氏よりご講演をいただけることになりました。こういった機会を最大限に活用して、グローバルな視点を育てていきましょう。

韓国の「ことば」をとおして、韓国の文化と社会を考えてみよう！

日時：1月16日(火) 15:40-17:00

場所：本校2F大会議室

講師：公益財団法人国際文化フォーラム 中野敦氏

題目：『韓国との交流のための言語と文化と社会を考えるワークショップ』

内容：交流に必要な「ことば」には、共通する言語のほかに、それぞれが背景とする社会と文化についての要素が含まれます。留学から戻ったばかりの大学生との交流をヒントに交流のための「ことば」について考えます。

申し込み：LL準備室前に置いてある票に申し込みをしてください。

※ 3月にミチュホル外国語高等学校への派遣を希望する生徒は参加が必須です。